

YOSANO

広報よさの

No.28

広報よさの 6 2008 No.28

発行：与謝野町役場 編集：企画財政課
住所：〒629-2292 京都府与謝野町字岩瀬1798番地1

TEL：0772-46-3084 (直通)
FAX：0772-46-4630

URL：http://www.town.yosano.lg.jp/
E-mail：kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

2008

6

特集
与謝野のまつり

●今月の表紙
加悦谷まつり
(4月25日撮影)

岩屋雲岩公園創造委員会会長

判田哲男さん

地域の宝を守り続けて20年



「雲岩一筋。私の活動はすべて雲岩公園につながっています」と話すのは、今月の「よさの人」岩屋雲岩公園創造委員会会長の判田哲男さん。

「岩屋区民のシンボルとも言えるつつじと雲岩、史跡をみんなに見てもらいたい」と公園化を考えたのがきっかけで、平成二年に岩屋区民十五人で同会は結成された。

判田さんはその立ち上げ時のメンバーで、「その頃の雲岩公園は、人が一人通れるくらいの山道しかなかった」と当時を振り返る。「まず地図を作り、その完成図をイメージしながら遊歩道を整備した。枕木運びは本当に大変だった」という作業は会員と区民の手作業で進められ、遊歩道の完成には五年を超える月日を要した。今でも毎月一回は作業日を設け、公園内の点検と整備を行い、年二回は区民も草刈りと掃除に参加している。

また、平成十年から始めた「雲岩公園つつじ祭」は今年で十一回目を数える。今では春の風物詩として定着し、多くの観光客が訪れ、地域の活性化に一役買うまでになった。



はんだてつお 1937年生まれ。岩屋在住。岩屋雲岩公園創造委員会結成時からのメンバーで現在会長を務める。「雲岩公園は幼少時から山遊びで親しんだ場所。公園は整備され変わったが、つつじの美しさは今も昔も変わらない」

こういった公園の地道な整備や活動が評価され、昨年天橋立大江山国定公園の新規指定に伴って雲岩公園も指定地域に含まれることになった。

「二十年間、手作りでやってきたことが実を結び、国定公園になったことは何よりうれしかった」

さらに、花と緑の愛護に功績のあった民間の団体に対し贈られる「第十九回『みどりの愛護』功労者国土交通大臣表彰」をこのほど受賞した。

「これらの評価は私たち創造委員会がもらったものではない。区民の皆さんみんなでもらったものです」

雲岩公園は約五千本のつつじに代表されるが、秋の紅葉が美しいことは意外に知られておらず、ギフチョウやそのエサとなる植物が生息するなど、その魅力は計り知れない。「今後は四季折々の花を育てたり、公園を案内するガイドを育成したりして、親しみやすい公園にしたい」という判田さん。

「後継者不足には悩まされるが、雲岩公園は区民みんなが大切にしているもので、残していかなければならないもの」。この思いは次代につながり、これからもきつと地域で大切に守り受け継がれていくにちがいない。

特集 与謝野のまつり

■多彩な行事が満載

加悦谷祭

4月26日・27日

写真で見る!



四月二十六日と二十七日の両日、加悦地域と野田川地域（三河内地区を除く）で「加悦谷祭」が開催されました。
 好天に恵まれ、各地では、勇壮な神輿や華やかに飾られた屋台の練り歩き、笹ばやしや神楽などの芸能が盛大に行われました。



1 かまど清めに家々をまわる（香河） 2 道振りの列が神社の参道を進む（下山田） 3 大宮神社の舞台では笹ばやし、太刀振り、神楽を奉納（石川） 4・8 子供屋台と勇壮な神輿（幾地） 5 芸屋台が町中を巡行する（後野） 6 軽快な太鼓の音に皆が誘われる（岩屋） 7・9 子供屋台と稚児行列（四辻） 10・11 弥刀神社の太刀振りとシャンギリ奉納（上山田）



■表紙の写真
 桑飼保育園を訪問した神楽。
 獅子頭に驚く園児もいましたが、最後はみんな順番に頭を噛んでももらいました。（明石地区では25日からかまど清めが行われています）



1 柴神社参道に登る担い屋台（与謝） 2 屋台がにぎやかに巡行する（加悦奥） 3・4 天満神社の石段を下る神輿（加悦・算所） 5 長宮神社の境内で神楽が奉納される（金屋） 6 大虫神社の太刀振り（温江） 7 鎌倉神社の神楽奉納（奥滝） 8 畠中神社の舞台で奉納される神楽（口滝）



■豪華絢爛な祭礼行事

三河内曳山祭

5月3日・4日

京都府指定無形民俗文化財に登録されている倭文神社の例祭「三河内曳山祭」が五月三日・四日の二日間にあつて開催されました。両日とも汗ばむほどの陽気となり、御旅所から神社までを巡行する十二基の華やかな屋台を見ようと、沿道にはたくさんの見物客が詰めかけました。



1 倭文神社境内では多くの観客の前で神楽が奉納される

2 神社の前には大幟を先頭に、神楽殿、山屋台、子供屋台の12基が並ぶ

3 宵宮では子供たちが祭りを盛り上げる

4・5・6 それぞれの地区では「町主」が祭りの全てをつかさどる

7-12 法被は町内ごとに模様が異なる。また、祭典時の町名があり、順に、大幟、神楽町、表町、中組、上之町、倭文町と呼ばれる



■祭りのルーツがここにある

岩滝祭

5月1日

五月一日、岩滝地域の各地で「岩滝祭」が開催されました。昨年は雨に見舞われ中止となる行事もありましたが、今年は予定どおり全ての行事が行われました。

立町地区、浜町地区、藪後地区、東町地区で組織される岩滝連合区では、伝統と格式を誇る「岩滝神楽」が奉納され、弓木地区、男山地区では神輿が町中を練り歩きました。また、石田地区では由緒ある太刀振りと笹ばやしが奉納されました。

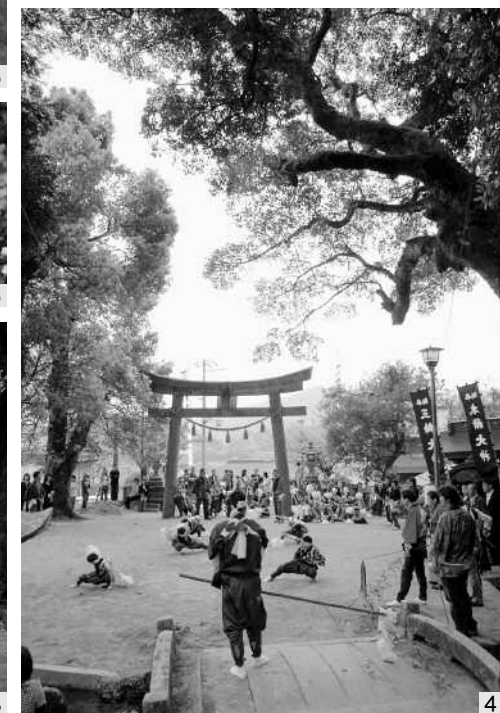


1・2 役場本庁舎前では子供たちによる神楽が披露された(岩滝連合区)

3・4 木積神社の境内では神楽、太刀振り、笹ばやしが奉納された(石田)

5・7 午前4時、神輿が城山神輿蔵から急斜面を降ろされる(弓木)

6・8 矢が的を射抜くと、男山の祭りが始まる(男山)



地域包括支援センターにお気軽にご相談ください

町内で暮らす高齢者の皆さんがいつまでも住みなれた地域で生活していけるよう、高齢者の総合相談窓口・介護予防支援の「拠点」として、平成18年4月1日に町直営で設置しました。現在、保健師2人・社会福祉士2人・主任介護支援専門員1人の計5人で、各専門職が連携しながら保健・医療・福祉サービスにつなげる支援・相談に応じています。

「介護保険サービスのことがよくわからない」「一人暮らしや老夫婦のみの生活が不安」「最近もの忘れがひどくなってきて困った」。このようなときはぜひご相談ください。

●与謝野町地域包括支援センター

(加悦庁舎・福祉課内)

TEL 43-1513/FAX 42-0528



上段左から田中百絵（社会福祉士）、山田智之（保健師）、榎原泰代（主任介護支援専門員）、下段左から金谷恵衣子（社会福祉士）、市田和美（保健師）

変わる福祉のカタチ

●これまでの経過

終戦後、戦争被災者、引揚者、戦争孤児が急増する中、生活困窮者への救済・保護対策として始まった日本の社会福祉制度。

昭和二十一年に、復員軍人や遺族の経済問題に対処するため「生活保護法」が、続いて昭和二十二年には、戦争孤児のため「児童福祉法」が制定されました。さらに、昭和二十四年に、傷痍軍人などを救済するため、「身体障害者福祉法」が施行されるなど、社会福祉政策として確立していくようになります。

その後、昭和三十年代に入ると「知的障害者福祉法」「老人福祉法」「母子及び寡婦福祉法」が制定されました。

これら六つの法律をあわせて「福祉六法」と呼び、福祉サービスの具体的な仕組みや内容が各法律によって規定され、今日まで経済成長とともに個別に充実、発展してきました。

●時代の変化

少子高齢化、家族や地域社会の機能の変化、障害者や高齢者の社会参加の進展にともなう、人々が持つ福祉課題、ニーズは多様なものとなってきており、社会福祉に対する意識も大きく様変わりし

にともない、戦後の救済・保護的な福祉から、必要な人、求める人すべてが利用し、支え合う方向へと歩み出したのです。

●なぜ今、「地域福祉」なのか

「福祉サービスが必要になっても、自分の住み慣れた地域を離れたくない。住み慣れた地域で暮らしたい」と考える人は多いのではないのでしょうか。

ただ、少子高齢化、核家族化、女性の社会進出などにより、高齢者の一人暮らしの増加や親の介護問題、子育てなど、多くの面でわたしたちは社会の支えがなければ暮らしてはいけません。

こういった支え合いを地域社会で行い、地域住民、福祉サービス事業所、行政などが協働で福祉課題の解決に取り組む、誰もが安心していきいきと幸せに暮らすことができるという「地域福祉」の仕組みづくりが今求められているのです。

3 弁当工房で作られる「夢かご弁当」は日替わりメニューを提供しています



あたらしい福祉のカタチ

連載 Vol.1

今月号から連載を開始する「あたらしい福祉のカタチ」では、「地域福祉」をテーマに、その仕組みづくりに携わる人や団体を取り上げ、様々な角度から与謝野町における「地域福祉のカタチ」を皆さんと考えてみたいと思います。第1回目は、「地域福祉」へと至る経過と、与謝野町が展開する「地域福祉」の取り組み、この二つを取り上げます。

与謝野町が取り組む「地域福祉」のカタチ

昨年策定した「与謝野町総合計画」では、自分たちでできることは自分たちです（自助）、地域共同でできることは地域です（共助）、事業者ができることは事業者です（商助）、行政はそのような自助・共助・商助を応援するとともに行政にしかできない責務を果たす（公助）という連携のもとに、住民が主役のまちづくりの未来図を描いています。

福祉分野では、「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」を基本目標に掲げ、基本計画の中で施策方針を示しています。すでに平成十九年度には、「安心どこでもプラン」（与謝野町地域福祉空間整備事業）を定め、「いつでも、どこでも、だれでも」福祉サービスを受けることができ、「あんしん」して住み慣れた地域で生活で

「安心どこでもプラン」具体的な施策



1 小規模多機能型介護施設の設置／加悦奥地区に19年度に整備。運営はNPO法人丹後福祉応援団。20年度には野田川地域にも整備予定

2 障害者自立支援パン工房の開設／文化・工芸の里にあるケーキ工房を19年度に改修・整備。運営は社会福祉法人よさのうみ福祉会

3 障害者グループホーム・ケアホーム及び弁当工房の設置／野田川保健センターを19年度に改修・整備。運営は社会福祉法人よさのうみ福祉会

4 障害者相談支援センターの設置／旧加悦交番所を京都府から無償で譲り受け、社会福祉法人よさのうみ福祉会「結（ゆい）」に無償貸与

■認知症グループホームの設置／20年度整備に向けて調整中

■聴覚言語デイサービスセンターの設置／20年度に岩滝地域にある施設を建て替え

■障害児童デイサービスセンターの設置／検討中

きる施策を展開しています。これは、町が事業者を支援し、事業者が地域で福祉サービスを展開するという「共助」「商助」を具現化したものです。

今後は、「社会福祉法」に基づいて、住民・事業者などの参加のもとに、地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する活動、地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する活動、地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する活動を一体的に策定す

る「与謝野町地域福祉計画」をつくり、福祉のまちづくりの方向性を住民の皆さんに示し、「地域福祉」の体制強化を図っていきます。

◇

今回はこれまでの経過や行政が取り組んでいる「公助」の部分を紹介しましたが、次回以降は「自助」「共助」「商助」それぞれの立場から、担い手や利用者などの声を聞き、「地域福祉」を考えてみたいと思います。

（次号へつづく）



上段左から坂本文弥君（3年）、小林克己君（同）、吉田雄三君（2年）、下段左から尾崎妹加さん（2年）尾崎都加さん（同）

●加悦谷高ウエイトリフティング部大活躍 小林克己君が優勝 4人が上位入賞を果たす

3月27日から30日にかけて、石川県金沢市総合体育館で開催された「第23回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会」で加悦谷高校ウエイトリフティング部が大活躍しました。

「全国での優勝は初めてでうれしかった」と小林君。「ただ幸運もあったので、インターハイでは実力で優勝をつかみ、学校対抗優勝に向けて集中してやりたい」と表情をひきしめ、次の目標を話してくれました。

全国高校女子選手権大会（7月19日～21日）とインターハイ（8月6日～9日）を控え、「男子は昨年逃した『学校対抗優勝』を合言葉にやってきた。女子は今年は中学校チャンピオンが入部し、3年生がいながらも3位以内は狙える」と川畑勉監督。この夏のウエイトリフティングの活躍に注目です。

●成績（敬称略）

小林 克己（94kg級）

トータル248kg 優勝（スナッチ113kg 1位/クリーン&ジャーク135kg 2位）

坂本 文弥（85kg級）

トータル245kg 3位（スナッチ113kg 1位/クリーン&ジャーク132kg 4位）

吉田 雄三（77kg級）

クリーン&ジャーク123kg 5位

尾崎 都加（63kg級）

トータル150kg 2位（スナッチ67kg 2位/クリーン&ジャーク83kg 2位）

尾崎 妹加（75kg級）

スナッチ72kg 2位

ウインドオーケストラ与謝の演奏



●双峰公園まつり 美しい調べが大江山に響き渡る

行楽日和に恵まれた5月4日、恒例の双峰まつりが、加悦双峰公園で開催され、たくさんの親子連れらで賑わいました。

今回初めて、ウインドオーケストラ与謝による吹奏楽の演奏が行われ、美しい調べが大江山に響き渡り、訪れた人たちはその音色に聞き入っていました。また会場で催されたビンゴ大会などを楽しんだり、公園内を散策したりと初夏の大江山を満喫していました。

●阿蘇海をきれいに！ 阿蘇海の環境改善に向けた取り組みが始まっています



右/E M だるま団子を作る岩滝小の児童 下/浅水代かき実演の様子

阿蘇海の環境改善に向けた取り組みが各方面で始まっています。農業排水に含まれるリンなどが、阿蘇海に流れ込み富栄養化し水質汚濁につながると言われており、その対策となる「浅水代かき」の実演会が5月8日、温江地区と石川地区で開催されました。これは、田に浅く水を張って代かきをすることで、田植え前に落水する必要がないと考えられている農法で、今回、農業関係者が実演会を通して、農業と環境負荷について学びました。

また、岩滝小学校では5月7日、環境教育の一環で、富栄養化した水質の浄化に効果があるとされるEM菌を使っただるま団子作りを全校児童で行いました。昨年の6年生が作ったEM発酵液とぬか、粘土質の土を混ぜ合わせて野球ボール大の団子を約3000個作成。6月上旬に阿蘇海に投げ入れ、水質浄化と悪臭除去に用いる予定です。



丹後山田駅構内の復元模型



●旧国鉄「丹後山田駅」資料室が完成 懐かしい思い出がよみがえる

KTR（北近畿タンゴ鉄道）野田川駅待合室に旧国鉄「丹後山田駅」資料室が4月にオープンしました。

駅をより魅力ある施設にすることでKTRの利用促進に繋がればと町が企画したもので、NPO法人加悦鉄道保存会の協力のもと、旧国鉄時代の丹後山田駅で実際に使われていた時刻表などを展示。また昭和50年代当時の丹後山田駅構内を忠実に再現した150分の1の復元模型は必見です。ぜひお立ち寄りください。

中央が塚本館長。左は同市教育長



●「滝の千年ツバキ」苗木植樹式 町の木「ツバキ」の苗木を寄贈

静岡県掛川市の資生堂企業資料館で5月8日、「滝の千年ツバキ」の苗木の植樹式が行われました。

これは、3月から5月にかけて加悦椿文化資料館で開催していた企画展で同館から資料提供を受けており、そのお礼に町教委から同社へ苗木を寄贈したもので、植樹式では、同館の塚本登喜男館長から「ツバキは商標にも用いられており、貴重な苗木がいただけるのは幸運でありがたい」と謝辞が述べられました。

田植えに汗を流す留学生



●京都府在留外国人ホームステイ交流事業 与謝野町で異国文化を体験

府内在留の外国人とホームステイなどを通じ国際理解を深めようと5月17日と18日の両日、与謝野・アベリスツイス友好協会の主催による国際交流事業が行われました。

京都市内の大学に通う欧州やアジア出身の留学生20人が参加し、初日はちりめん街道を散策した後、町内のホストファミリー宅でホームステイを体験。翌日は田植えや高校生や町内の人とのポットラックパーティーを行い、交流を深めました。

●功績・功労をたたえて 小池潤一郎さんが 「藍綬褒章」を受章されました



消防団長時代の勇姿。小池さん（写真右端）を先頭に分列行進（1月6日・出初式）



春の褒章がこのほど発表され、公益に尽くした人へ贈られる「藍綬褒章」を小池潤一郎さん（上山田）が受章されました。

小池さんは、昭和57年に旧野田川町消防団に入団以来、今年3月末で退団されるまでの26年間、町民の生命と財産を守るため、「自分たちのまちは自分たちで守る」を信念に、郷土防災に尽力されました。平成16年には旧野田川町消防団長に就任し、新町誕生後は与謝野町消防団の初代団長として「めざそう、火災ゼロのまち」を合言葉に予防消防の重要性を団員に訴え、町民の皆さんの防火意識の高揚に努められました。また、団長就任直後に、第19回京都府消防操法大会小型ポンプ操法の部で見事優勝を果たし、合併直後に全国操法大会に出場という快挙を成し遂げられました。小池さんの長年のご苦労に敬意と感謝を表しますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

「アベリスツイス」の外国人ホームステイ体験



●よさの健康づくりのつどい 元気なシルバーライフをめざして

野田川わーくばるで5月10日、よさの健康づくりのつどいが開催され、約110人が参加しました。

元気に生き生きと暮らすためのコツを学んでもらおうと町が初めて実施したこのイベント。参加者は、講演会で体に優しい靴の選び方や歩き方を学んだ後、「健康ウォーキング」「笑って挑戦、頭の体操」などを体験。また健康チェックの相談コーナーも設けられ、健康づくりに熱心に取り組んでいました。

子犬の心音に耳を澄ます園児



●与謝保育園動物ふれあい教室 子犬やウサギと仲良しに

与謝保育園で5月15日、動物ふれあい教室が行われました。この教室は、動物愛護意識と身近な動物に対する正しい知識をもってもらおうと京都府が実施しているもので、この日は、成犬、子犬、ウサギ、モルモットがやってきました。

園児は聴診器で聞き子犬の心音に興味津々。保健所職員から犬の習性や動物との接し方を教わった後は、園庭のサークルに放された子犬などを抱き上げて歓声を上げていました。

足と靴のトラブル

1 間接的に起こるトラブル／足先の痛み、疲労、むくみ、膝痛、腰痛、肩こり等

2 皮膚のトラブル／水虫、巻き爪、タコ、ウオノメ等

3 外科的なトラブル／外反母趾、内反小趾、扁平足、骨折による変形等

特に**1**、**2**に関しては「足に合っていない靴」や「間違った靴の履き方」によって、かかとが不安定にな

靴の履き方

1 かかとは靴の命です。かかとがぴたりくるようにかかとをトントンと軽く地面に打ち付けます。

2 ひもをしっかり締めて足の甲とかかとを安定させます。靴を脱ぐ時もひもを緩めましょう。

3 しっかりと履けるとつま先もゆったり余裕がでます。

4 毎日、同じ靴を履き続けないようにしましょう。

その他、靴全体が傾いているようであれば交換時期です。

✕ 「足に合っていない靴」が体に起こす影響



○ 「足に合った靴」が体に起こす影響



足と靴のはたらき

最近、自分の足や靴を見たことがありますか。タコ・巻き爪・水虫がある足、外反母趾や扁平足な足、かかとの片べりが多い靴、長時間履くと疲れる靴等…。この機会に足や靴を見つめて、足元からつくる健康づくりを始めてみましょう。

足のはたらきは、「体重を支えて立つこと」「歩いて移動すること」です。さらに、歩くことを通じて日常生活や仕事や余暇等の「『生活の質』を高めている」という大切な働きがあります。

また、足にとって良い靴のはたらきは、「足を外界から守る」「立つ」「歩く」といった足のはたらきを助けてくれる「靴が足を痛めない」ことです。

これが原因となり、タコや巻き爪ができて、足先が緊張して蒸れたりして水虫の原因にもなります。さらにこれらの状態が長期間続くことで、痛みや不快さから逃れるために足が変形するなど、**3**のトラブルが起き治療や補正靴が必要になっていきます（左下図参照）。

靴の選び方

- 1 足にフィットした感じがある。
- 2 つま先に一センチのスペースがあり、全ての指が動かせられる。
- 3 ひもで調整できる。
- 4 かかとがしっかりとサポートされている。
- 5 中敷（インソール）の形が足に合っている。

健康な足や体をつくるには

1 体重をかかとに七割、足の前方に三割かけて姿勢良く立ちまわろう。

足を見直し明日のために

足に合った靴があるだけではトラブルは解決しません。足元から見直し、活動ある生活を過ごすことで足は引き締め、体も元気になっていきます。足を見直し、明日を変えて健康な毎日を過ごしましょう。



その気のゆるみが火災の原因です！



平成19年度中は与謝野町内の火災発生件数が13件で、その出火原因の主なものは、たき火、たばこ、コンロなどで、そのほとんどがちょっとした気のゆるみが原因です。平成20年度にもすでに3件の火災が発生しています。気をゆるめず日頃から火元の確認をし、火の後始末を必ずしましょう。万が一、火災が発生しても火が小さなうちは自分でも消火することができます。そのためにも、消火器などを確認しておきましょう。

消火器の正しい使い方



消火器の正しい構え方



消火器を確認してください

- 本体が腐食しているものや、キズや変形しているものは危険ですので使用しないでください。
- 消火器本体の耐用年数は「概ね8年」です。
- 粉末消火器の薬剤は「概ね5年」ごとに詰め替えが必要です。

消火器は初期消火の必需品

被害を最小限にとどめるために家庭でも1本は備えておきましょう。



住宅用火災警報機を設置してください

火災を早期に発見するための火災報知機を設置してください。新築住宅は平成18年6月1日から設置が義務となり、既存の住宅は平成23年5月31日までに設置が必要です。



◎お知らせ
第2回与謝野町消防団消防操法大会を実施します
 ■月日 6月22日(日)
 ■場所 野田川グラウンド

平成20年度全国統一防火標語「火の始末 君がしなくて 誰がする」

Harry's column インドへボランティア活動に

先月、私は国内の22人の外国人と一緒にボランティア団体でインドの東南の方のアーンドラ・プラデーシュ州のコササトラム・インデラナガー村へ行ってきました。

インドにはヒンドゥー教にまつわる身分制度であるカースト制度の影響や差別が残っており、階層や貧富の差が非常に大きく、今回の活動は、貧しい人たちのための家の建造を手伝いに行きました。そこで、建造の材料が必要なので出発する前に募金をお願いしたところ、多くの町民の方たちのおかげで、募金の合計は私の団体が予想していた金額より2倍ほど多く集まりました。本当にありがとうございました。

この訪問の前には「なぜボランティアで行こうと思うの。なぜインドの中の貧しいところへ行こうと思うの」とよく聞かれました。なぜかという二つ理由があります。一つには、地元の人に直接触れ合うことができるからです。実際、私たちは言語がわからなかったのですが、自分の心情を伝える手段があれば交流できると感じました。例えば、私の仲間が冗談として、ダンスコンテストを二人で始めました。その時、地元の人



建造した家の前で家族と記念撮影

がそれに気づいて、自分たちのダンスを始め、あっという間にみんなが盛り上がりました。そうしてみんなが仲良くなっていきました。もしボランティアに参加しなかったら、このように触れ合うことは難しいだろうと思いました。

二つ目に、全く違う環境を体験したいということです。インドの田舎は日本やカナダに比べると、食べ物、習慣、生活などが違うので、どんなに不衛生でも、生活に慣れなくても、逃げられないだろうと私は思いました。そこでは彼らの生活を受け入れるしかないでしょう。ですから、自分が慣れない環境にチャレンジすると彼らの見方がわかるようになり、自分の視野も広がるのではないかと私は思いました。もちろん、外国の体験がない人に「全く知らない国へ行ってください」と勧めはしませんが、自分が慣れた環境の範囲外にチャレンジしてみてもどうですかと提案したいです。そうすると、いろんな人々と絆を深めることにより、自分の悩み、心配などが透視でき、自分の可能性と実力もわかり、成長のもとになるでしょう。そして、これが国際交流の一番大事なことではないかと私は思っています。

らな国へ行ってください」と勧めはしませんが、自分が慣れた環境の範囲外にチャレンジしてみてもどうですかと提案したいです。そうすると、いろんな人々と絆を深めることにより、自分の悩み、心配などが透視でき、自分の可能性と実力もわかり、成長のもとになるでしょう。そして、これが国際交流の一番大事なことではないかと私は思っています。

時の贈り物 [第26回 ◎ 縮緬創業記念碑]

まちの文化財

三 河内の倭文神社の北東側約百五十メートルにある三つ葉グラウンドの奥に大きな石碑がそびえ立っています。「縮緬創業記念碑」と刻み込まれた石碑の裏面には石碑建立の理由書きがあり、その要旨は「今、皆が丹後縮緬の恩恵を受けることができるのは、江戸時代、木綿屋六右衛門の力添えで、手米屋小右衛門と山本屋佐兵衛が苦勞をして西陣でその技術を習得。享保七年(一七二二)に帰郷し、その技術を惜しみなく多くの者に伝授したからである。それに感謝の意を三つ葉グラウンドというちりめん始祖伝とそれへの謝意というものです。この石碑は大正十五年に建立されましたが、翌年の丹後震災で倒壊し、今の石碑は二年後の昭和四年に新造・再建されたものです。大正期の石碑の断片が今でも算所と三河内の両地区に残っています。石碑の建立は直接に商売につながるものではありません。では、石碑建立の原動力は何だったのでしょうか。大正末期から昭和初期のちりめん織を取り巻く環境を見ると、丹後機業者の組織的まとまりが進み、国練(丹後で製織した

生地を地元で精練・検査し、市場に出すこと)の実現という動きがあったことがわかります。●大正十年/丹後縮緬同業組合設立:四郡ごとの支部が一本化 ●大正十四年/丹後ちりめん倉庫精練(佛設立:実質的な国練のはじまり) ●昭和三年/国練検査制の開始(峰山・網野・岩滝・加悦・口大野に加工場が次々と設置) 国練の実施には京都の間屋の強い抵抗があり、その実現は丹後機業者悲願の大事業だったので。こうしてみると、この石碑の建立は先祖へ感謝を示すという気持ちを基層として「ちりめん織に関わる人たちの自立意識の高揚と新たな一歩への祈念」だったとも推察されます。(与謝野町教育委員会)



右/昭和4年に再建された石碑(三河内地区) 上/丹後震災で倒壊した石碑の断片(算所地区)



(与謝野町教育委員会)

今月のオススメの一冊

一般書

『歌う校長夢の種をまく』

大野実/著 かもがわ出版

不登校、高校中退を経て、教員免許は通信教育で取得。現在はインターネット通信制併設京都美山高校校長である著者。「歌う校長」のキャッチフレーズで「夢の種をまく」をテーマに講演活動にも取り組み、悩んでいる子どもたちや保護者、教師へ伝えてきた内容が飾らない話し言葉で綴られています。



児童書

『あしたのてんきははれ? くもり? あめ? かがくのとも傑作集・おてんきかんさつえほん』

野坂勇作/作 根本順吉/監修 福音館書店

梅雨に入ると、毎日の天気がとても気になります。新聞やテレビの天気予報を見るのもいいけれど、雲やお日さまや風の向きをよく見ると、空や野原に天気のヒントが隠れていることを教えてくれるこの絵本で、あなたも天気予報をしてみませんか。



新着図書

- 【一般書】 ●『猛女とよばれた淑女』 斎藤由香/新潮社 ●『堂々たる政治』 与謝野馨/新潮社 ●『北欧の切り紙 インテリア・モバイル』 イェンス・ファンダー・ニルセン/池田書店 ●『甲子園への遺言』 門田隆将/講談社 ●『こふくあかの』 西加奈子/小学館 ●『太陽の盾』 アーサー・C・クラーク/早川書房

- 【児童書】 ●『ドラえもののびっくりクイズ恐竜館』 藤子・F・不二雄/小学館 ●『なにがほしいの、おうじさま?』 クロード・K. デュボワ/B.L出版 ●『いろいろなじゃがいも』 山岡ひかる/くもん出版 ●『流れ行くもの(守り人短編集)』 上橋菜穂子(作) 二木真希子(絵)/偕成社 ●『ラブ、スター★ガール』 ジェリー・スピネリ/理論社

その2 図書館のひみつ

当館をはじめ、全国の主な公共図書館は「日本十進分類法」という、本の内容をまず10の分野に分け、それをまた10に分けてどんどん細分化していくという決まりに従い図書を分類しています。一番大きい分野として総記が0、哲学・宗教は1、歴史が2...最後の9は文学となり、数字の組み合わせによって内容がわかるようになっています。当館では一部の例外を除き、3桁の数字で表していますが、蔵書が多い図書館では4桁以上でさらに細かく分類する館もあります。当館の分類で「933」とある場合の「9」は文学、続く「3」で英米文学、最後の数字「3」で小説・物語を示します。例えば大人気のハリー・ポッターシリーズに「933口」という背ラベルがついており、これは英米文学の小説で、最後のカタカナ「口」は著者 J. K. ローリングの姓の最初の音を表示しています。同じ分野の本がたくさんある場合でも、著者名で分けることで、さらに分類されているのです。この分類がわかると本を探すのにとっても便利です。手始めに、自分がよく利用する本の背ラベルを見直してみたいかがでしょうか。

ハリー・ポッター最終巻の予約について

図書館では6月21日(土)から予約を受け付けます。予約順に発売日(7月23日(水))以降に入荷次第、貸出をしますのご協力をお願いします。

図書館のご案内

問い合わせ先

与謝野町立図書館(常設館一階)

☎(46) 2451

加悦分室(加悦地域公民館二階)

☎(43) 0335

野田川分室(中央公民館一階)

☎(43) 0087

開館時間・休館日

●時間/午前10時~午後6時 ●休館日/本館:加悦分室(毎週月曜)、野田川分室(毎週火曜)、共通(毎月最終木曜)

おはなし会のお知らせ

●本館/「七夕おはなし会」七月五日(土)午後三時三十分(小学生未満・午後三時(小学生) ※要申し込み) ●野田川分室/六月二十一日(土)午後三時、「七夕おはなし会」七月十二日(土)午後二時 ●加悦分室/六月十四日(土)・七月十二日(土) ※いずれも午後三時

子ども読書絵手紙コンテスト

入選作品展示のお知らせ ●中央公民館/七月五日(土)~七月十日(木) ●加悦地域公民館/六月二十七日(金)~七月三日(木)



民生児童委員だより

与謝野町民生児童委員協議会では、民生児童委員だよりを通して民生委員・児童委員の活動を紹介します。今回は新会長のあいさつと副会長から活動を紹介します。

会長
吉田 弘
よしだ ひろし

与謝野町になってから初めての斉改選で67名(28名新任)が厚生労働大臣から民生委員・児童委員の委嘱を受け新体制でのスタートとなりました。この度、会長の指名を受け重責を感じています。

今日、少子高齢化が急速に進む中、子どもや高齢者への虐待・暴力等社会的課題を背景に福祉のニーズはますます多様化しています。住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに努め、民生児童委員のスローガンでもある「広げよう地域に根ざした思

いやり」をモットーに人と人とのつながりを大切にしながら地域ともつながる民生活動をしていきたいと思っています。

「災害時に支援が必要な方を支援するためのネットワークづくり」、また「障害者自立支援法」の障害のある方が地域の方とともに、人格を尊重し相互に支え合いのできる生活を目指す社会づくりの推進を図り、今後も社会奉仕精神をもって委員の資質の向上に努めてまいります。



福祉施設利用者の外出レクリエーションをする民生児童委員

副会長
多田 孟男
ただ たけお

少子高齢化が進む中、与謝野町の高齢化率も約28%に上ったようです。

ごみの分別は高齢者に限らず難しくなり、袋の残っているのをあちらこちらで見かけます。解決に向けての事例を紹介します。

Aさんは高齢のためか分別がうまくできず、近所の方が気がいたら再分別してられる状態でした。その親切も長く続かないと思い、「ヘルパーさんを頼んだらどうか」と相談しましたところ、「入ってもらおう」ということになり、早速支援センターに連絡し、次の週から可燃ごみを出す前日の夕方1時間入っていただき、ごみの分別、掃除等をお願いしました。次からはヘルパーさんの来られるのを待っておられ喜んでいただきました。

困ったこと、相談したいことがありましたら私たちはお手伝いをしていきますので、お気軽にご相談ください。

副会長
松尾 豊子
まつお とよこ

子どもたちを取り巻く環境がますます厳しい状況の中、安心安全の地域づくりに励んでいます。与謝野町民生児童委員の児童に関する活動の取り組みを紹介いたします。

- 子育て支援事業(母と子のふれあい会)
 - 保育所・幼稚園・小学校・中学校の各行事への参加および先生方との懇談会
 - 防犯パトロール・登下校のパトロール・あいさつ運動 等
- 各地域の特性を生かし、地域に根ざした活動を心掛け、未来の担い手である子どもたちが、健やかに成長できる地域をめざして、私たち民生児童委員一同がそのような願いを込めて努力しています。

主任児童委員は、主に児童に関することについて対応しています。お気軽に声をかけ、ご相談ください。

副会長
光野 宏和
みつ の ひろかず

昨今の子どもたちの現状は、いじめや不登校また遺書を残して自殺等、私たちが思いもかけないことが起っています。

しかし、これらは一握りの現象ではないでしょうか。昨年開催された与謝野町子ども発表会で、素晴らしい貴重な体験談、向学心に燃えた素直な気持ち、将来の夢や思い等のメッセージを聞いて大きな感動を受けたのは私一人ではなかったでしょう。また、登下校時パトロールをしていると「ありがとう」と明るくあいさつしてくれる子どもたちがたくさんいるのです。

今こそ子どもたちを明るく健やかに育く環境づくりが求められています。そのためにはまず楽しく笑いのある家庭、健全なる教育をめざす学校、安心安全な地域社会の三位一体が肝要です。これからも常に子どもたちに目線を合せた活動を、皆さんとともに進めてまいりたいと思います。



登校班のパトロールに立つ民生児童委員

- 主な活動内容**
- 子育ての仲間づくり
 - いじめ・児童高齢者の虐待防止
 - 行政サービスの説明
 - 福祉ニーズの調査
 - 介護の相談
 - 地域の安全点検
 - 福祉情報の提供
 - 関係機関への連絡
 - 声かけ・安否確認
 - 高齢者世帯への訪問
 - ひとり暮らしなどの世帯への見守り活動

シリーズ 男女共同参画 第三回 女性のチャレンジ

子育てが一段落した後、社会で活躍したいという希望を持つ人が多くなっています。また、自ら起業する女性やNPOで活躍する女性も増えています。男女共同参画は、このような「女性のチャレンジ」を応援します。

「古物を再生し、若い人たちに使って欲しい」と、昨年十二月、宮津市内の空き店舗に古物雑貨屋「古処勘左衛門」をオープンさせた坂本詠子さん(字岩滝)。

坂本さんは、中学生と高校生のお子さんを持つお母さん。昭和レトロな雰囲気の内には、懐かしい小物や家具等が並んでいます。

体の自由がきかない、忙しくて手が回らない、そんな人たちの「ちょっと助けて」に答えられる場がないことに目をつけた坂本さんは、店舗を便利屋「なんやかん屋」の事務所として兼ね、力仕事から家庭の草取りまでなんでも引き受けておられます。

昨年の五月から七月にかけて、京都府男女共同参画センター主催

の「女性のための起業おこしセミナー」を受講した坂本さんは、起業のノウハウを学ぶため三カ月(月二回)にわたり京都市内まで通われました。セミナーを受講して、夢や理想ばかりを描いて何ひとつ動けない自分の甘さに気付き、自分から動き出さないと何も始まらないことを学んだといいます。

「依頼された仕事は口実のものなので、話し相手になることの方が実は喜んでもらえることもある」「年齢が違っているので、教わることも多い」とお金にはかえられないものを肌で感じながら、まことに住む人の「便利」に応え、みんなが笑顔でいられる商売(笑売)を目標にがんばっておられます。

ライフワークとして、誰でも簡



店先に立つ坂本詠子さん

単にできる手作りの「絵本作り講座」も計画しておられる坂本さんは、この夢の実現に向けてチャレンジ真っ最中。

「与謝野町には、まだまだ何かやってみたい人はたくさんいるはず。子どもから手が離れたお母さんたちに、町がもっともっとときっかけづくりや支援をしてほしい」と願っておられる坂本さんです。

◇ お店を持つのもチャレンジ、仲間とボランティア活動を始めるのもチャレンジ。やる気を出して活躍したいと思っておられる女性の

女性チャレンジ相談

■相談日 六月二十三日(月)・七月十四日(月)・八月二十五(月)・九月八日(月) ※時間はいつでも午後1時〜5時。

■場所 わくわくときめきスポット(京丹後市大宮町三三五)

■相談料 無料

■申し込み先 京都府丹後広域振興局企画振興室

☎0772(62) 4300

方は、ぜひとも一歩を踏み出し、社会で輝いていただきたいと思えます。

坂本さんのように、がんばる女性のチャレンジを応援する「女性のチャレンジ相談」を次の日程で実施します。また、与謝野町内でも、平成二十年度中に予定

六月二十三日(月)〜六月二十九日(日)は、「男女共同参画週間」です。

平成20年度内閣府男女共同参画週間最優秀標語 「わかちあう 仕事も家庭も喜びも」

与謝野町役場 ☎46-3001 (代表)
岩滝地域振興課 ☎46-3002
総務課 ☎46-3003
総務課 (消防安全係) ☎46-3004
企画財政課 ☎46-3084
企画財政課 (情報システム係) ☎46-3085
建設課 ☎46-3267
商工観光課 ☎46-3269
会計室 ☎46-3007
野田川庁舎 ☎44-2081 (代表)
野田川地域振興課 ☎44-2082
住民環境課 ☎44-2083
税務課 ☎44-2084
水道課 ☎44-2085
下水道課 ☎44-2086
加悦庁舎 ☎43-1511 (代表)
加悦地域振興課 ☎43-1512
福祉課 ☎43-1513
保健課 ☎43-1514
農林課 ☎43-2191
議会事務局 ☎43-0215
教育委員会 教育総務課 ☎43-2192
教育委員会 教育推進課 ☎43-2193

訓練用水消火器を貸し出しています

☎ 総務課 ☎ 46-3003

突然発生する火災。一般のご家庭には消火器の設置義務はありませんが、いざという時のために多くのご家庭で消火器を設置されています。しかし、消火器の取り扱い方法については、ほとんどの人が「使ったことがないのでわからない」「取り扱い方がむずかしい」と思っておられるのではないのでしょうか。

一〇ページの「がんばっています！消防団」でも紹介していますが、消火器は誰でも簡単に使える身近な初期消火のための「小さな消防隊」です。消火器の置き場所を家族みんなで知っておくこと、家族の誰もが使えるようにしておきましょう。

そのためには、家族み



四辻区が5月13日に実施した「訓練用水消火器」を使用した訓練の様子

なで地域で行われる防災訓練に参加して、実際に使用の方などを体験しておくことも大切です。消火器の練習は一人ではなかなかできないものです。地域の消火訓練は消火器の放射時間などを実際に体験するには絶好の機会です。

「訓練用水消火器」を総務課消防安全係で貸し出ししていますので、自治会や事業所で消火訓練をされる際にご活用ください。

京都ジョブパークをご存知ですか？

☎ 商工観光課 ☎ 46-3269

京都ジョブパーク北部サテライト（京都府若年者就業支援センター北部センター）は、若年者の就職活動を専門の施設で、利用は無料です。「現在仕事を探している」「Uターンでの就職を考えている」方はぜひご利用ください。

■主な業務内容

- ◎各種就職関連情報の提供、求人紹介
- ◎専任のカウンセラーによる個別相談
- ◎就職支援セミナーの実施
- ◎対象／学生・三十四歳以下の学卒未就職者、早期離職者、フリーターの方等
- 利用時間／月々金曜日の午前9時～午後5時（祝日、年末年始は休み）
- 問い合わせ先／京都ジョブパーク北部サテライト（京都府若年者就業支援センター 北部センター）
- ☎ 0773 (22) 3815

福知山市篠尾新町1-14 エースビル4階 (JR福知山駅北口から徒歩約5分)

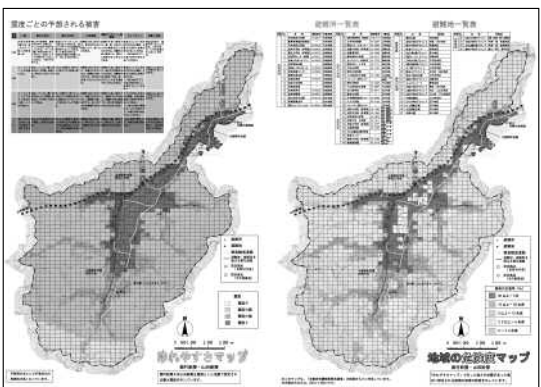


建築物耐震改修促進計画と地震防災マップを策定しました

☎ 建設課 ☎ 46-3267

平成七年の阪神・淡路大震災では、多くの方の尊い命が奪われましたが、その大半は、家屋等の倒壊による圧迫死であったと言われています。

そして、この時に倒壊等の大きな被害を受けたのは、昭和五十六年五月三十一日以前に着工された、現在の耐震基準に適合していない



与謝野町防災マップ。左に「ゆれやすさマップ」、右に「地域の危険度マップ」を掲載

※防災マップに記載の「山田断層」の位置は、「山田断層帯の評価（地震調査研究推進本部地震調査委員会：平成16年12月8日公表）」を参照し記載していますが、詳細な断層の位置等は現在解明されていません。

●計画を策定する背景と目的

平成七年の阪神・淡路大震災では、多くの方の尊い命が奪われましたが、その大半は、家屋等の倒壊による圧迫死であったと言われています。

そして、この時に倒壊等の大きな被害を受けたのは、昭和五十六年五月三十一日以前に着工された、現在の耐震基準に適合していない

新 知遊館長就任

生涯学習センター知遊館長に、平成20年4月1日付で、上西義仁さん（岩滝）が就任しました。

職員人事異動

平成20年4月30日付の退職者をお知らせします。

●野田川衛生プラント 作業員 武田 重雄

●地震災害に強いまちづくりを

今後発生する地震による被害を最小限に止めるためには、町内の住宅・建築物の耐震化を推進し、地震災害に強いまちづくりを行わなければなりません。

そこで今回、「与謝野町建築物耐震改修促進計画」とともに、お住まいの地域の地震時の揺れやすさ、危険度とあわせて、避難所・避難地・緊急輸送道路等を

●意見募集結果

『広報よさのお知らせ版』（平成二十年一月二十五日発行）・町ホームページで、計画の素案に対するご意見を町民の皆さんから募集しましたが、意見書の提出はありませんでした。

■計画書の閲覧／計画書の全文は町ホームページの他、役場建設課で閲覧できます。

この欄で紹介する出生とお悔やみは、4月16日から5月15日までの届け出分です。役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配布している
広報誌には掲載しています

お悔やみ
(敬称略)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

おめでとう
おめでとう
(敬称略)

まちのうごき

平成20年4月末現在

人口	25,247人 (+54)
男	11,915人 (+21)
女	13,332人 (+33)
世帯数	8,990戸 (+64)